

鴨川メガソーラ反対運動 報告（2件）

自然保護委員会

1, 鴨川メガソーラ計画地を香木原林道から視察報告

1/13(日) ふわくの鶴沢さんの発案で鴨川ソーラ現地を見てみようと呼ぶが 中心となった行事に参加したので報告します、

参加者数 28名

ふわくハイキングサークル 22名

県連関係 ちば山2名 船山1名 こまくさ2名

朝日新聞記者(ちば山会員) 1名



10:20 鴨川駅集合 今西さん(メガソーラ反対運動事務局)の現在の情勢の説明

広大な計画地の地図を広げ、設置場所を示しながら、自然破壊そのものである事を指摘し、次の様にまとめた。

現在県からの森林伐採許可はまだ下りていない。

3月の委員会で許可が出るかどうかと言う段階だ。

計画認可時の売電契約は36円/キロは現在でも生きている。4月以降になるとこの価格が見直されることになるかもしれない。との事で3月末までが大きな運動の山場になるのではないかと説明された。



10:30 乗用車に分譲し焼却場の空き地に着く。当初雨天の予報が一転風邪が少し強いが晴天に恵まれ、香木原林道をトンネルの少し先まで歩く。この辺の地層は大変柔らかく、林道横の川は深い谷をつくっている。ため池からは林道も古道状態となり、柔らかい崩れた泥岩や倒木が時々林道をふさいでいる。トンネルの少し先で昼食。そこから郡界尾根の手前まで有志による視察。見晴らしの良いところまで行き、削られる予定の山を展望する。

その後往路を戻り、焼却場で鶴沢さんからこれからの運動だとのまとめの挨拶。県連から菅井が、開発を断念させるのは、住民の運動と署名活動だということで署名活動を続け運動を盛り上げる事。自然保護委員会できり組むとして挨拶し終了

2, 全国メガソーラ問題中央集会参加報告

1/14(月休日) 13:00~ 中野ゼロホール

参加者 菅井(ちば山) 古瀬(こまくさ) 岡田(船山)

2012年FIT法により再生エネルギーの固定価格買い取り制度により、儲けのため、山林を大規模に伐採しメガソーラを計画する業者が全国で相次ぎ、各地で自然破壊が大問題となっている。昨年10月長野県茅野市で行われた集会に続いて全国的な2回目の集会だった。

スペシャルゲストとして野口健さんを迎え、次の5つの団体から報告があった。

日光横根高原メガソーラー計画

諏訪市四賀ソーラー

鴨川地区メガソーラー

京都南山城・伊賀市太陽光発電
岡山市大井地区メガソーラー

鴨川からは計画地の自然にふれ、特に大ききは計画で、移動する土砂の量も桁違いにおおきなものになることから、法的手段も検討しているというのであった。

その他会場では八ヶ岳山麓、伊東市八幡野、伊勢志摩、大阪豊能などでの計画反対署名活動が行われていた、これらに共通している事は

- ・事業者の一方的な計画で、地元負担だけを押しつける自然破壊そのもの
- ・環境アセス等の法的規制は国レベルではなく計画を中止させる法的根拠が乏しい ということだった。

集会では、国に対し、このまま何も手立てを講じることなく放置すれば、私たちの生命を守ってきた自然環境と平穏な暮らしが、ソーラー事業によって奪われる可能性がある。自然と調和し、地域と共生する再生エネルギーの実現と持続可能な社会を構築するため次の様な要請書を提出した。

太陽光発電施設を環境影響評価の対象とするに関する要請書

- 1、環境評価の対象とする際の規模要件、
- 2、戦略的環境アセスの導入
- 3、環境影響評価法と条例の関係
- 4、評価の方法
- 5、事後調査の実施及び報告書の作成

の五項目の要請を実現するため速やかな環境影響評価法の改正を行うことを求める

以上要望書を採択し、反対運動を続けることで終了した。

千葉県連は創立以来、「素晴らしい房総の自然を守る運動」に取り組んで来ました。

追原ダム建設、鬼泪山山砂採集では地元の方々と共に、自然破壊を阻止して歴史と自然を守って大きな成果を残しました。

今回は、郡界尾根縦走コースの鴨川の山を伐採整地し「メガソーラー」を建設する計画が進行しています。

「メガソーラー」は、国の電力政策、補助金事業として、風力発電等と共に脱原発のクリーンエネルギーとして全国的に建設が行われています。

千葉県内でもゴルフ場跡、休耕田、里山等に大小様々な「ソーラー発電」が建設されています。

私たちは、全ての「メガソーラー」建設に反対するものではありません。今回の鴨川に建設を進めている「メガソーラー」は、豊かな房総の自然財産を破壊するものです。利権を優先する企業の勝手は絶対に許せません。

千葉県連の総力を挙げて

「メガソーラー」建設を阻止し、

ふるさと房総の豊かな自然を守ろう！